

単元名 ひらがなの がくしゅう

配当時間 10時間

単元の目標 (1) 点画(とめ・はらい・折れ・折り返し・曲がり・結び・はね)の書き方を理解し、書き出しや書き順に気を付けて、字形を整えて正しく書くことができる。  
 (2) 平仮名の形の違いや文字の概形について考え、気付くことができる。  
 (3) 点画の筆使いや書き順、字形に気を付けて、平仮名を丁寧に書こうとする。

## 標準的な展開例

01020102\_001

【教材名】 くつ／ことり／にじ／えのぐ・はす／あめ・わた／がっきゅうかい／おじいさんは…／あいうえお… (P.8～P.21)

【準備等】 水書板、水書用紙、水書用筆、点線で四つに区切ったます目入りのシート又は黒板

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「とめ」や「はらい」に気を付けて、『く』『つ』を書く。  ★止めるところと払うところに気を付けて書こう  ○『く』『つ』を試し書きし、課題をつかむ。  ○始筆、送筆、終筆の書き方を知る。</p> <p>○練習をする。</p> <p>○『くつ』をまとめ書きする。</p> <p>2 書き順に気を付けて、『こ』『と』『り』を書く。  ★書き順に気を付けて正しく書こう  ○『こ』『と』『り』を試し書きし、課題をつかむ。  ○「上から下へ」「左から右へ」という書き順の原則を知る。  ○練習をする。</p> <p>○『ことり』『いけ』をまとめ書きする。</p> <p>3 始筆の位置に気を付けて、『に』『じ』を書く。  ★書き始めるところに気を付けて書こう  ○『に』『じ』を試し書きし、課題をつかむ。</p> <p>○書き出しの位置を確かめる。</p> <p>○練習をする。  ○『にじ』『かさ』『へや』『うた』をまとめ書きする。</p> <p>○教科書P.20～P.21の「ひらがなの ひょう」を見ながら1・2・3それぞれの部屋から書き始める文字を見付ける。</p> <p>4～5 線の途中の「曲がり」「折れ・折り返し」「結び」に気を付けて『えのぐ』『はす』を書く。  ★「曲がり」「折れ・折り返し」「結び」に気を付けて書こう  ○『えのぐ』『はす』を試し書きし、課題をつかむ。  ○「曲がり」「折れ・折り返し」の書き方を確かめる。  ○『は』と『す』を比べて「結び」の形の違いや書き方を話し合う。</p> <p>○練習をする。</p> <p>○『えのぐ』『はす』をまとめ書きし、「曲がり」「折れ・折り返し」「結び」のある言葉を書く。</p>	<p>・正しい姿勢と鉛筆の持ち方や動かし方を確認し、書くときの心構えをもたせる。</p> <p>・書き出しの位置を確認してから書かせる。  ・水書板で範書したり、指書きさせたりして、「とめ」と「はらい」の筆使いの違いをつかませる。  ・「びたっ（とめ）」、「すうっ（はらい）」と声を出して練習させる。  ・水書用筆を活用して、「とめ」の動きや、「はらい」の力加減を体感させてもよい。  【評】 作品を通して、平仮名の終筆の書き方に対する「知識・技能」を評価する。  ・上から下へ、左から右への書き順を意識させる。  ・正しい姿勢や鉛筆の持ち方を意識させる。  ・範書の文字に書き順を書き入れて説明する。</p> <p>・正しい書き順で書いているかを個別に確認し支援する。  【評】 練習を通して、「思考・判断・表現」を評価する。  【評】 作品を通して、書き順に関する「知識・技能」を評価する。  ・書き出しの位置で、字形が変わることに気付かせる。  ・試し書きした文字の書き出し位置を赤丸で囲ませ、教科書と比べて課題を考えさせる。  ・ます目を四つに区切って、書き出しの位置を確認させる。  ・段階的に練習できる用紙を用意する。  ・二人組で互いに字を見合い、書き出しの位置が正しくなったところを認め合うようにさせるとよい。  【評】 作品を通して、始筆の位置に関する「知識・技能」を評価する。  【評】 それぞれの部屋から書き始める文字を見付ける活動を通して、「主体的に取り組む態度」を評価する。  ・特徴をつかんで、丁寧に書かせる。</p> <p>・点画の方向の変わり方を確かめさせる。  ・音声化し、理解を促す。  ・『は』と『す』の「結び」の形の違いに気付かせる。  ・児童の言葉で特徴をまとめてもよい。  【評】 話し合い活動を通して、「結び」の形に関する「思考・判断・表現」を評価する。  ・教科書P.12の線を鉛筆などでなぞり、送筆の仕方を確認させる。  ・水書用筆を活用して、送筆の仕方を体感させるとよい。  【評】 練習を通して、「曲がり」「折れ・折り返し」「結び」に関する「知識・技能」を評価する。  ・「曲がり」「折れ・折り返し」「結び」について試書とまとめ書きを比べて自己評価させる。</p>

- 6～7 似ている字の同じところ、違うところに気を付けて『あめ』『わた』を書く。  
★似ているところと違うところに気を付けて書こう  
○『あ』『め』『ぬ』『の』『わ』『ね』『れ』を試し書きし、課題をつかむ。  
○似ているところ、違うところを見つけて発表する。
- 練習をする。
- 教科書P. 14の文字の違いを見付けて発表し合う。
- 『あめ』『ぬ』『わ』『ね』『れ』のまとめ書きをし自己評価をする。
- 8 拗音や促音、句読点、かぎの位置や大きさに気を付けて語句や単文を書く。  
★小さく書く字を書くところに気を付けて書こう  
○教材文字を読み、小さく書く文字を確認する。  
○拗音・促音の書き方を確かめる。
- 拗音・促音の入った言葉を練習し、まとめ書きをする。
- 句読点・かぎの書き方を確かめる。
- 「おおきなぶ」を丁寧に書く。
- 9 字のおおよその形を理解し、形に気を付けて文字を書く  
★字の形に気を付けて書こう  
○『せみ』『すいか』『のり』『ふうせん』を試し書きし課題をつかむ。  
○文字のおおよその形は3通りに分けられることを確かめ囲んでできた形を身近なものに例える。
- 形に気を付けて練習する。
- 形に気を付けて、まとめ書きし、自己評価をする。
- 10 書き順や字形に気を付けて、平仮名を書く。  
★書き順や形に気を付けて、平仮名を書こう  
○間違えやすい書き順の文字『け』『な』『む』『や』『よ』『ら』や送筆・終筆の難しい字『え』『そ』『ゆ』を試し書きする。  
○教科書P. 20～P. 21を見ながら書き順、送筆、終筆を確かめる。  
○書き順、送筆、終筆に気を付けて平仮名を書く。
- 自分の名前や先生、友達の名前を正しく書く。

- 【評】作品や自己評価を通して、平仮名の送筆に対する「知識・技能」を評価する。
- ・本時までに学習した内容について、振り返りながら書くように声をかける。  
・曲がりの部分や折れ・折り返しの部分が似ていることを見付けさせる。  
【評】発表を通して、平仮名の形に関する「思考・判断・表現」を評価する。  
・水書用筆を使用して、終筆を払う感覚を体感させるとよい。  
・終筆の形や線の数だけでなく、『は・ほ』の点画の突き出しの有無も確認させたい。  
【評】作品や自己評価を通して、似ている点画の違いに関する「知識・技能」を評価する。  
・内容が多いので、整理しながら確実に学習できるように工夫する。
- ・正しく読めるように注意する。  
・どの部屋に書くのか、まず黒板に色を塗るなど工夫して分かりやすく示す。  
・拗音や促音が小さくなりすぎないように助言する。  
・かぎを書く位置は、拗音や促音とは異なるので、特に注意して書かせる。  
【評】作品を通して、拗音や促音、句読点、かぎの大きさや書く位置に対する「知識・技能」を評価する。
- ・手本の文字の周りを囲んで形が分かるようにさせる。  
【評】文字の形について表す言葉を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する
- ・それぞれの文字の概形を書き入れた練習用紙を用意して書かせる。  
【評】作品や自己評価を通して、文字のおおよその形に関する「知識・技能」を評価する。
- ・教科書を見ないで、書くように促す。
- ・上から下、左から右へという書き順の原則を再確認させる。  
・書き順の間違えやすい文字や「とめ」「曲がり」「折り返し」などが難しい文字が書かれた練習用紙で練習させる。  
【評】作品を通して、書き順や字形に関する「知識・技能」を評価する。  
・自分の名前は書き慣れているので、特に丁寧に書かせる。  
【評】名前を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】